



撮影・プロデューサー：貞末麻哉子
構成・編集：洪 福貴
制作補：梨木かおり
ナレーター：長谷川初範

もし、私に何かあったら
この子はどうなるの？

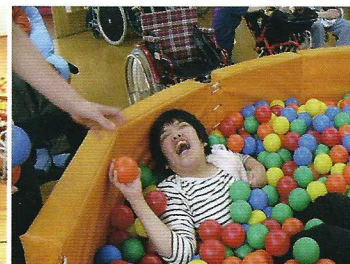
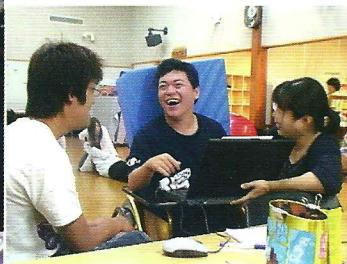


普通に生きる

静岡県富士市にある生活介護事業所 **でら〜と** の取り組みを5年にわたって記録したドキュメンタリー映画



「どんなに重い障害を持っていても、地域の中で普通に生きてゆける社会をつくる」
親たちはこの理念を信じてまっすぐに進んだ



【制作 (特別協力)】 ナレーター：長谷川初範 / 音楽：木 霊 / 整音・MA：中山隆臣・成ヶ澤 玲 / カラリスト：稲川実希・太田義則 / ポストプロダクション：CSW (Cinema Sound Works)
【制作】 撮影・プロデューサー：貞末麻哉子 / 構成・編集：洪 福貴 / 制作補：梨木かおり / 製作・著作・配給：マザーバード / 制作協力：mediaEDIX 【撮影協力】 社会福祉法人インクルふじ生活介護事業所 **でら〜と** 利用者と保護者の皆さん / 生活介護事業所 **らぼ〜と** 利用者と保護者の皆さん / NPO法人くじら 陽だまりの家 / 静岡県立富士特別支援学校 / 富士市 / 富士宮市

普通に生きる ~自立をめざして~

「イントロダクション」

静岡県富士市にある生活介護事業所「でら〜と」は、「どんなに重い障がいがあったとしても、本人もその家族も、地域の中で普通に生きていける社会をめざす」という理念のもとに親たちの努力で、ゼロから立ち上げた重症心身障害児者のための通所施設である。

ここには医療的ケアを必要とする利用者も多く、生活支援員の他に看護師も常勤し、毎日、それぞれの障害や個性に合わせたプログラムで日中活動を支援している。利用者は多くの人や地域との関わりの中で、社会性を身につけ、誰からも介護を受けられるように成長してゆく。そして親たちも、法制度の改革の波に揉まれつつも行政に働きかけ、自分たちのニーズにあった制度や施設づくりを行い続けてきた。

いずれは、親も子もそれぞれの人生を明るく送れる地域社会づくりを目指して『福祉の受け手から担い手となる』発想が、親たちの新しい未来を切り拓いてきた。

自分たちが、福祉の受け手から担い手になれると気づいた

親たちは制度の壁を乗り越えて新しいサービスを生み出していった



推薦のごよみ

慶応大学教授 浅野史郎

障害者のごよみ、特に、重症心身障害者のごよみを知らない人たちに、この映画を見ていただきたい。「障害者はいかにかわいそう」「障害者は家族を不幸にする」「障害者は何もできない」「重度の障害者に自立なんてありえない」といった思い込みがいつべんに変わってしまうだろう。また、地域の中で支障の施設が欲しいと思いつくながらも、実現の困難さから、あきらめていた障害者の家族にも観てもらいたい。「やればできる」、大きな勇気をもらおうはずである。

社会福祉法人十愛療育会理事長 日浦美智江

かつて障害のある人たちは世間から隠され、座敷牢と呼ばれる部屋に閉じ込められていたのが「普通」でした。一九八六年、日本で初めての重症心身障害児者の通所施設「朋」が生まれ、重い障害のある人たちの自己実現の舞台ができた。当時は、親はわが子の自己実現に自分の自己実現を重ね、親と子は一心同体というのが一般的には「普通」だったと思います。当時の母親たちは七十代、五十代です。子どもの自己実現と自分自身の自己実現に胸を張って取り組んでいます。親と子は一心同体ではなく二人の別々の人間であることが「普通」なのです。例え我が子に重い障害があっても、親自身の自己実現があるのが「普通」なのです。親と子、それぞれの自己実現です。子どもの幸せは親の幸せであり、親の幸せは子どもの幸せです。そこにどんな条件が加わろうとそれが「普通に生きる」ことなのだ、それを、見事に見せてくれたでら〜とのみなさんに、心からの敬意と拍手を送ります。

日本福祉大学准教授 原田正樹

「自立」とは本人の内発的な生きたいという叫びであって、国家が「自立支援」を促すものではないと思う。制度は「生存を保障する」ものであって、「生き方を管理する」ものではない。こう書くとも難しい理屈のように受け止められるかも知れないが、映画に登場することよとされるそれらの「希望」、そのことを物語ってくれている。そして、この映画が本当にすごいことは、こうしたメッセージを自然に優しく描いていることだ。

■生活介護事業所でら〜と・らぼ〜と 社会福祉法人インクルふじとは？

富士市のでら〜と(2004年開所)と、富士宮市のらぼ〜と(2009年開所)は富士市・富士宮市で暮らす重症心身障害児(者)の親たちで組織した「はなみずき」が、様々な活動の末、地道な活動を続けながら設立した社会福祉法人インクルふじが立ち上げた在宅サービスの拠点である。

インクルふじのホームページ <http://incle.jp>

この作品の著作・配給・上映・ご購入に関するお問合せは ■ マザーバード ■

TEL & FAX : 03-6913-5591
e-mail : office@motherbird.net



普通に生きる 公式ホームページ <http://www.motherbird.net/~tikuru>

■「普通に生きる~自立をめざして~」に描かれた力

生活介護事業所 でら〜と・らぼ〜と 所長 小林不二也



足掛け5年にわたって当法人の取り組みを取材していただき、利用者とその家族の生の姿を丁寧に撮っていただきました。人は弱い存在です。しかし、最も弱いはずの重症心身障害児(者)の彼らの笑顔から、実に多くの人々が力をもらっています。映画は、障害・家族・運動・仲間・人生・夫婦・自立等々、さまざまなことを考えさせてくれる素晴らしい作品に仕上がりました。不況や災害など生きにくい世の中であればこそ、彼らから多くのことを学び、歩んでいくことで社会が成熟していけると確信しています。ぜひとも、お一人でも多くの人にこの映画を観ていただきたいと思ひます。明日に向かって力強く生きていく勇気を、彼らからもらってください。そしてその力をあなたの周囲で悩んでいる友人に向けてあげてください。この映画と、利用者の笑顔にはそんな力があると確信しています。

